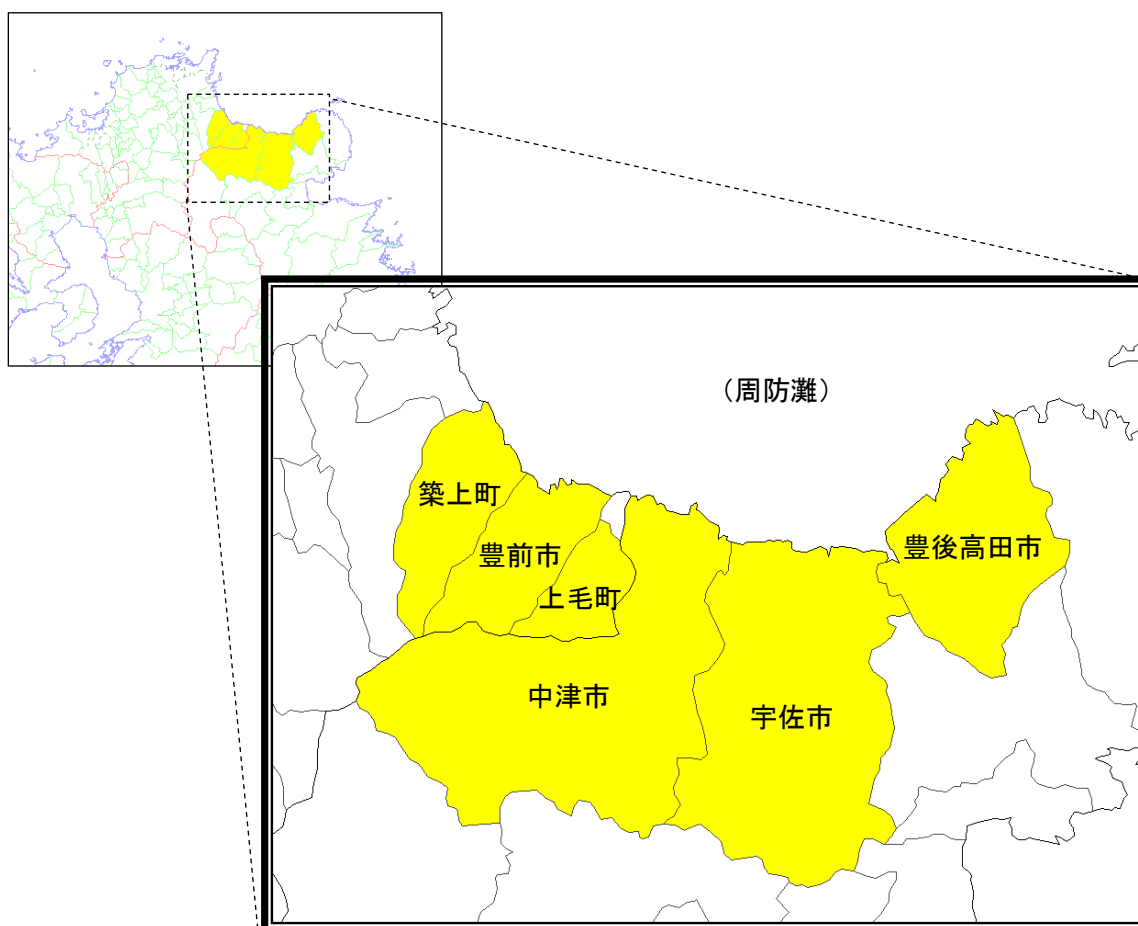


# 九州周防灘地域定住自立圏共生ビジョン

(H22年度～H26年度)



## 中津市

【平成22年3月】

【平成23年7月変更】

# 九州周防灘地域定住自立圏共生ビジョン

## 【圏域の名称及び構成自治体】

名 称：九州周防灘地域定住自立圏

自治体：中津市、宇佐市、豊後高田市、豊前市、築上町、上毛町

## 【圏域の背景】

九州周防灘地域定住自立圏は、北を日本三大干潟の一つ豊前海を有する「周防灘」に面し、南を「耶馬日田英彦山国定公園」を含む森林に囲まれた自然豊かなエリアであり、山国川をはじめとする多くの河川が山と海を繋いでいる。また圏域東部は、宇佐八幡の影響を受けた独特の山岳仏教文化である「六郷満山文化」ゆかりの史跡が多く、一方圏域西部は、求菩提山を中心とした「修験道文化」の影響を見ることができ、神楽や祇園など伝統的民俗芸能も多く伝わるなど、歴史的・文化的にも多くの資源を持った圏域である。かつて藩政時代には圏域のほとんどが共通の領地に含まれていたこともあり、現在でも就業や就学、買い物などにおいて生活圏を共有しており、互いに結びつきが強い圏域である。

これら豊かな自然や文化を背景に、地方ならではの資源を活かした交流施設の整備やツーリズム運動等により、観光や交流といった視点での取り組みが盛んに行われているほか、近年では、ダイハツ九州株式会社の操業とそれに伴う自動車関連企業の進出により、「カーアイランド九州」の一翼を担う工業集積エリアとして注目されるなど、経済的にも今後のさらなる発展が期待されている圏域である。

とはいえ、現在わが国は少子高齢化による人口減少社会へ本格的に突入し、特に地方では都市圏への人口流出ともあいまって深刻な問題となっている。また、社会・経済情勢のグローバル化の中で地域経済は低迷しており、地方にとって定住人口を確保していくためには、地域に安定した経済と社会空間を創造していく必要がある、それは当圏域でも例外ではない。

「定住人口の確保」は言い換えれば「人口減少への対応」に他ならないが、人口の減少には「少子高齢化」という自然的減少と「人口の流出」という社会的減少の2つの要因がある。これらの問題は表裏一体であり、それぞれ個別に対応するのではなく、さまざまな分野の取り組みを総合的に実施していくことが必要である。また、こうした総合的な施策の目的は、三大都市圏のような一極集中型の都市化を目指すものではなく、地方の資源を活用し、かつ、地方の実情に沿った施策であることが重要である。

### 【圏域の発展のために】

圏域の発展を促進する要素として第一に挙げられるのが、安全安心で健康的な生活環境である。特に医療については、地方の医師不足が大きな問題となっており、当圏域にとっても喫緊の課題である。

第二の要素としては、雇用環境が挙げられる。特に20代・30代の若年層の定住人口の確保については、雇用の確保と言い換えることもできるため、産業の振興による安定した雇用の確保に努めるのはもちろんのこと、教育や住環境などの条件整備を合わせて行うことで、人口の流出を防ぐことが可能となる。

第三の要素は、観光の振興である。少子高齢化対策について、ただ人口を増加させることのみを目標に置いた施策は、今後三大都市圏においても人口減少が見込まれている今、現実的とは言えない。定住人口のみでなく、観光等で圏域を訪れる交流人口の増加を図ることで、経済活動を含めた圏域の活性化を図ることが可能となる。

第四の要素は、圏域を繋ぐネットワークの整備である。特に地方における広域道路網は、上記三要素を含む幅広いサービスに直結する重要なインフラであり、都市部と比較してまだまだ整備が遅れている状況にある。また高齢者など交通弱者の増加により、圏域を越えた公共交通網の整備に対する需要も年々高まってきている。

## 【圏域の将来像】

生活、文化、経済などあらゆる面で古くからの結びつきを持つ当圏域は、今まで培ってきたお互いの絆を大切に、圏域自治体同士が今まで以上に連携を深めながら、圏域の一体的な発展に取り組む必要がある。また、当圏域の持つ「自然」・「文化」等様々な資源を活かし、地域の実情に応じた施策を創造しなければならない。さらに、新たな企業誘致やネットワークの構築に柔軟かつ積極的に取り組み、将来に「希望」が持てる圏域づくりという視点を常に持ち続けなければならない。

九州周防灘地域定住自立圏は、上記の方針に基づき、圏域の発展に必要な前段の4つの要素に対応する施策を総合的に行い、「定住人口の確保」、「交流人口の増加」を図りながら「圏域の一体的な発展」を目指すため、圏域の将来像を

### 「暮らしの元気があふれる地方圏域」

とする。

「暮らしの元気」とは……

#### ① 「生きる元気」

元気で安心して暮らせる圏域を目指し、医療や子育てなど生活機能の確保に連携して取り組む。

#### ② 「働く元気」

従業者のための環境整備や、企業誘致の推進、各種産業の振興を行うことで、圏域に安定した雇用を確保していく。

#### ③ 「発信する元気」

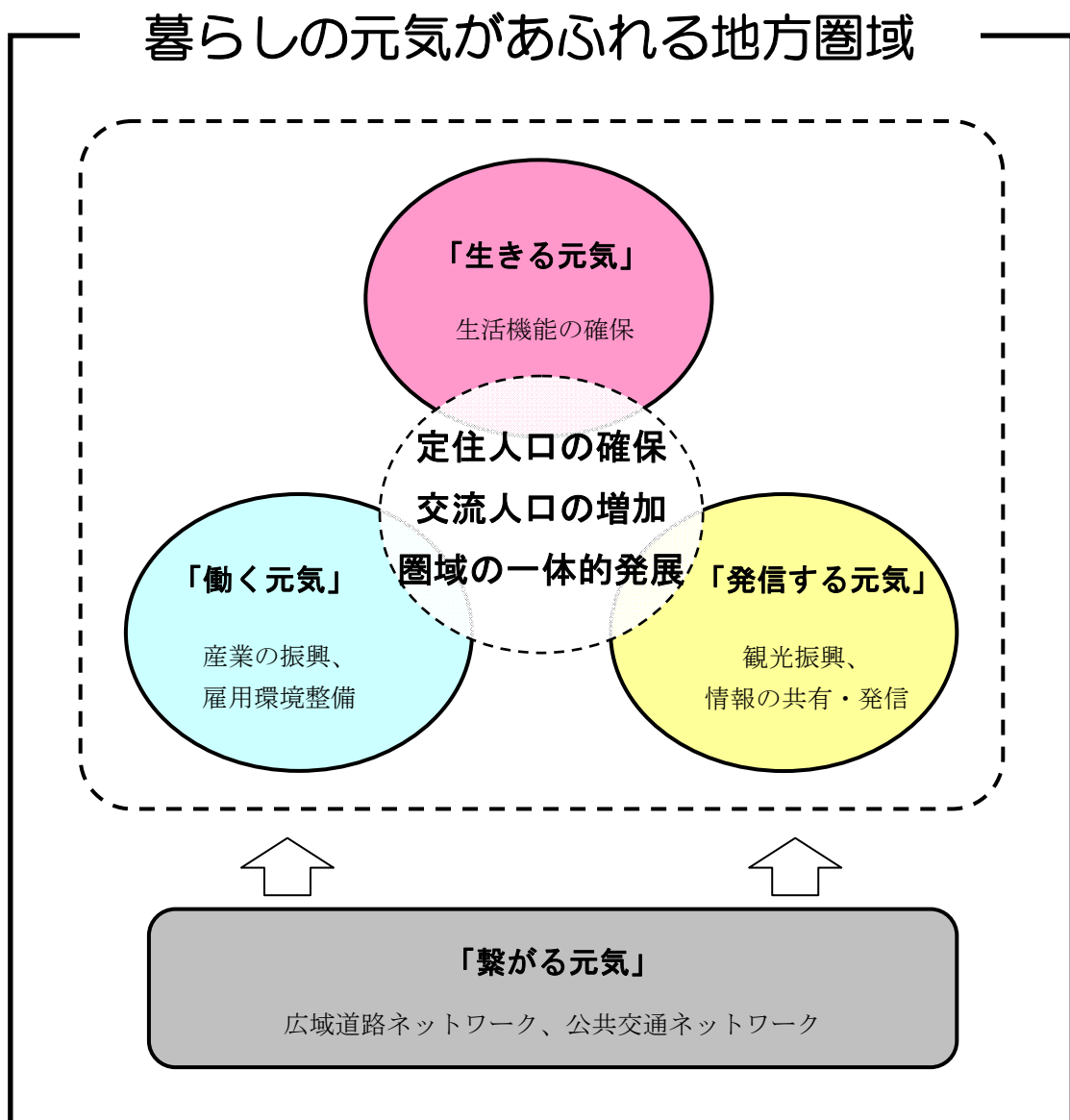
それぞれの地域の持つ資源を活かし、情報の共有・発信に努めながら、広域観光ネットワークを構築し、交流人口の増加に努める。

#### ④ 「繋がる元気」

様々なサービスに直結する広域道路網や公共交通ネットワークの整備を推進する。

の4つの「元気」からなり、それぞれの「元気」を育むための施策を有機的に連携させながら圏域の一体的な発展に努める。また、こうした施策を創造、計画、実施していく際に重要な圏域自治体職員の資質向上についても、平行して取り組んでいく。

◇圏域の将来像イメージ



### 【ビジョンの期間】

九州周防灘地域定住自立圏共生ビジョンの期間は、平成22年度より5年間とし、事業の進行管理を行いながら必要に応じ毎年度所要の変更を行うものとする。なお、変更に際しては、関係する圏域自治体と事前に協議を行うものとする。

### 【中心市の都市機能の集積状況】

分野	都市機能	施設名
医療・福祉	公立病院	中津市民病院
	民間病院	村上記念病院、大貞病院、梶原病院、川畷整形外科病院、酒井病院、つくし園、中津胃腸病院、中津第一病院、中津脳神経外科病院、松永循環器病院
	特別養護老人ホーム	いずみの園、悠久の里、望箭荘、望箭荘やまくに、やすらぎ荘
	老人保健施設	創生園、三光園、さつき苑、なのみ
	保育施設	市保育所（9園）、民間保育園（20園） 公設民営保育園（1園）
	児童相談所	中津児童相談所
教育	大学等	大分県立工科短期大学、東九州短期大学
	各種専門学校等	中津情報処理学園
	高校	中津南高校、中津北高校、中津東高校、中津商業高校、東九州龍谷高校
	図書館	小幡記念図書館、三光図書館、本耶馬溪図書館、耶馬溪図書館、山国図書館

文化・観光・スポーツ	文化施設	中津文化会館、リル・ドリーム、勤労青少年ホーム、歴史民俗資料館、大江医家史料館、村上医家史料館、耶馬溪風物館、福澤記念館、コアやまくに、三光工芸センター
	スポーツ施設	ダイハツ九州アリーナ、中津総合運動場、三光総合運動公園、禅海スポーツセンター、耶馬溪水上スポーツ施設、コロナ運動場・体育館 ほか多数
	観光施設	福澤旧居レストハウス、八面山交流施設、洞門キャンプ場、西谷農村公園、深耶馬溪温泉館、耶馬溪サイクリングターミナル、奥耶馬溪憩の森、やすらぎの郷やまくに、やかた地区交流拠点施設 ほか多数
交通	公共交通	J R 日豊本線（3 駅） コミュニティバス（12 路線）
	自動車専用道路	東九州自動車道（建設中）、中津日田地域高規格道路（建設中、一部供用開始）
	港湾施設	重要港湾中津港
消費	大型商業施設	延べ床面積 3,000 m <sup>2</sup> を超える店舗（13 店舗）
	金融機関	銀行等（8）

\*平成 22 年 1 月現在

**【定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取り組み】**\*（ ）内は協定締結自治体

ア 生活機能の強化

① 小児救急医療体制の確保（全自治体）

小児科の休日夜間における救急医療体制を確保するため、小児救急に係る医師人件費等を圏域自治体で負担する。

② 勤労者福利厚生対策（全自治体）

圏域の中小企業の従業者に対する共済金の給付や余暇活動に対する助成を行うサービスセンターの運営を圏域で支援する。

③ 産業の振興（豊後高田市、中津市）

企業誘致のための工業用地整備や、誘致活動の推進、従業者のためのインフラ整備等を行う。また、企業用地情報を共有するとともに共同発信を行う。

イ 結びつきやネットワークの強化

① 公共交通（豊前市、中津市）

病院等圏域の生活機能を確保するための施設に対するアクセス向上のため、コミュニティバスの路線新設や既存路線との連携を検討する。

② 定住・移住促進（上毛町、中津市）

定住・移住促進のための空家等の情報を圏域内で集約し、共同で情報発信する。

③ 圏域内外の住民との交流（全自治体）

圏域の交通ネットワークを活用した広域観光ネットワークを形成し、圏域の観光振興及び圏域内外の住民との交流を推進する。

④ 広域道路網の整備（全自治体）

病院等圏域の生活機能を確保するための施設に対するアクセス向上のための道路整備や、広域的な交通ネットワークの整備促進を行う。

ウ 圏域マネジメント能力の強化（全自治体）

圏域自治体職員の資質向上のための合同研修の開催や、人材交流の推進、圏域外からの専門家の招聘等を行う。

## 【年度別事業計画・個票】

### ア 生活機能の強化

#### ①小児救急医療体制の確保

##### 【概要】

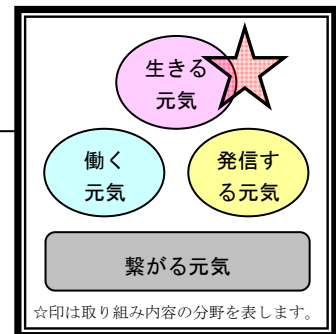
圏域で24時間365日受診可能な小児科救急医療体制を確保する。

##### 【圏域の役割分担】

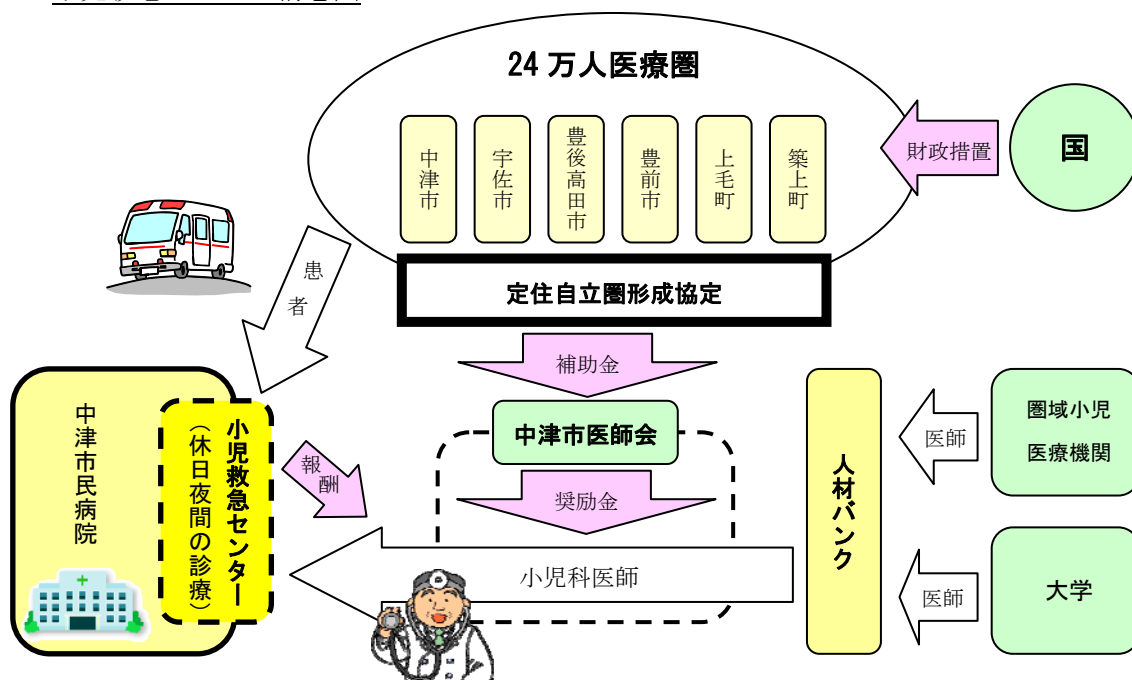
中津市は小児救急医療を行う小児救急センターや、同センターへ医師を派遣するシステムの整備等を行う。圏域自治体は、小児救急センターに勤務する医師の人件費等を患者数に応じて負担するほか、住民に対し適正受診や病診連携等に関する啓発を行う。

##### 【事業内容】

- ・ 小児救急センター支援事業（全自治体）
- ・ 中津市ドクターバンク事業（中津市）
- ・ 小児救急医療啓発事業（全自治体）
- ・ 小児救急センター整備事業（中津市）



小児救急センター構想図



実施	全自治体						
分類	アー①小児救急医療体制の確保						(単位：千円)
事業名	小児救急センター支援事業						
事業概要	中津市民病院の小児救急センター（平日、土、日、祝日）に勤務した医師に対する報償費を圏域自治体で負担。報償費の支払いは中津市医師会が行い、市からは当該費用を補助金として支出。 <b>【負担金算定の考え方】</b> 小児科の時間外受診患者数に応じて按分						【関連条文】 8-1、9-1
事業効果	圏域の小児救急医療を担う医師を安定的に確保することが可能になるとともに、一次・二次救急の分業により、中津市民病院に勤務する小児科医の労働条件の向上にも繋がる。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	188,164	14,500	10,782	10,782	76,050	76,050	
充当財源	定住自立圏活性化基金充当（1/2, H22-H23）						

実施	中津市						
分類	アー①小児救急医療体制の確保						(単位：千円)
事業名	<b>中津市ドクターバンク事業</b>						
事業概要	中津市ドクターバンク(無料職業紹介所)に中津市内の病院や診療所の医師及び小児救急センターの応援医師などの募集情報を登録し、これに応じた医師を登録することにより、希望に応じた医療機関に医師を無料で斡旋・紹介するシステムを整備する。						【関連条文】 9-4
事業効果	医療機関の求人情報をタイムリーに提供することで、医師確保を望む医療機関とそこへ勤務を希望する医師との間のマッチングを行うことで、不足する医師の確保対策に効果が見込める。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	520	400	30	30	30	30	
充当財源							

実施	全自治体						
分類	アー①小児救急医療体制の確保						(単位：千円)
事業名	<b>小児救急医療啓発事業</b>						
事業概要	市民病院の小児科は365日、24時間体制で小児救急に対応しているが、医師の勤務環境などの悪化や小児科医不足などで、小児救急医療体制の維持が厳しい状況である。このような状況を広く啓発するため、小児救急ハンドブックの配布や出前講座、小児医療を守る劇を公演したり、小児医療を題材にした絵本やDVDの配布等を行い正しい受診などについての理解を求める。						【関連条文】 8-2、9-5
事業効果	軽症患者のコンビニ受診などの減少と、重症救急患者への対応の充実を目指すほか、現場での小児救急医療に携わる医療スタッフなどに対する業務負担軽減が見込める。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	2,250		2,250				
充当財源	大分県地域子育て創生事業補助金(100%)						

実施	中津市						
分類	アー①小児救急医療体制の確保						(単位：千円)
事業名	小児救急センター整備事業						
事業概要	平成 24 年度完成予定の新中津市民病院の建設と合わせて、圏域における休日・夜間の小児救急医療の拠点となる小児救急センターの整備を行う。鉄骨造、耐震構造、平屋建て、延べ床面積 314 m <sup>2</sup> 【病院事業会計】						【関連条文】 9-2
事業効果	現在、中津市民病院の小児科においては常勤医 7 名で 1 年 365 日 24 時間の診療を行っているが、その中でも休日・夜間における救急患者は年々増加しており医師が疲弊している状況にある。このため圏域における小児救急医療の拠点としての小児救急センターを整備することにより、「地域で小児医療を支えあうシステムづくりの確立」や「医師にとって魅力ある環境づくり」が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	備考
	89,203		8,920	80,283			
充当財源	病院事業債（充当率 100%）、一般会計出資金（全体事業費の 1/4）、県補助金（全体事業費の 2/3）						

②勤労者福利厚生対策

**【概要】**  
 圏域の中小企業の従業員に対する共済金の給付や余暇活動に対する助成を行うサービスセンターの運営を行う。

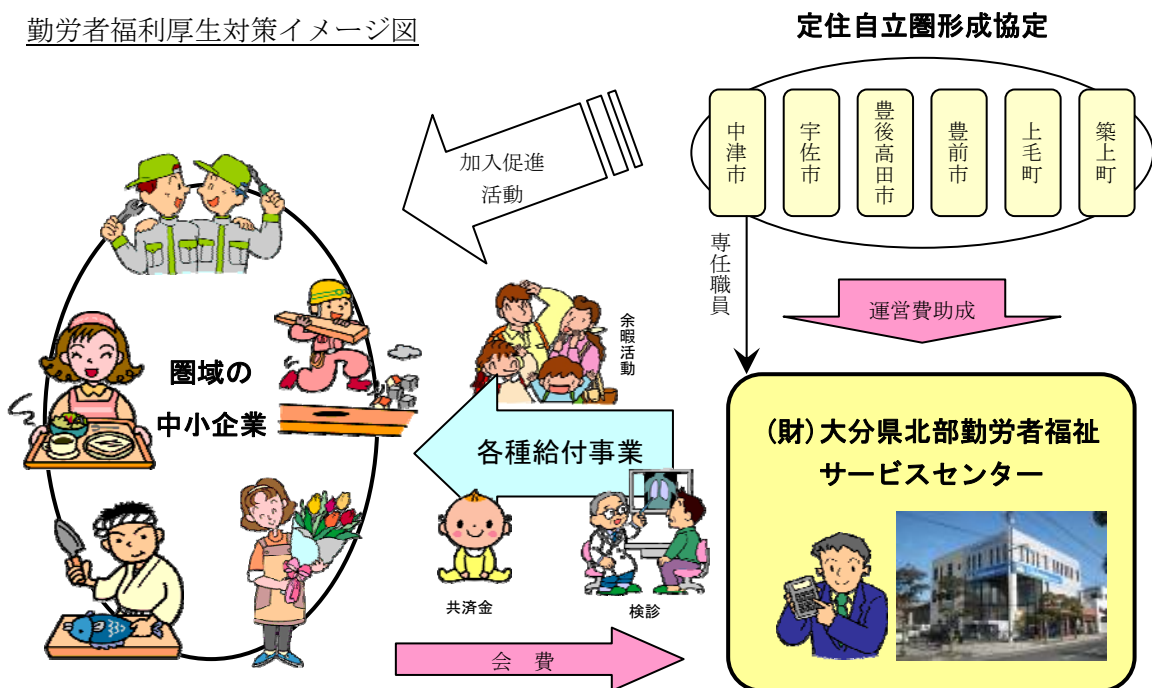
**【圏域の役割分担】**  
 中津市はサービスセンターの運営に係る事務を行う専任職員を配置する。圏域自治体は、従業員数やセンターへの加入者数に応じ、センターの運営費を負担するほか、センターの財政基盤強化を図るため、加入促進活動を行う。

**【事業内容】**

- ・ 勤労者福祉サービスセンター運営事業（全自治体）
- ・ 勤労者福祉サービスセンター加入促進事業（全自治体）



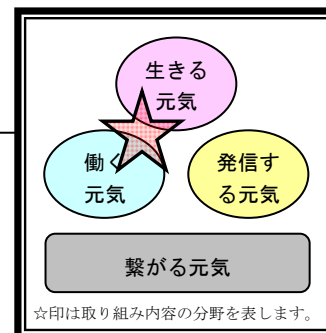
勤労者福利厚生対策イメージ図



実施	全自治体						
分類	アー②勤労者福利厚生対策						(単位：千円)
事業名	<b>勤労者福祉サービスセンター運営事業</b>						
事業概要	<p>圏域の中小企業の従業者に対する共済金の給付や余暇活動に対する助成を行うサービスセンターの運営を、圏域で負担する。</p> <p>【負担金算定の考え方】 各自治体の従業者数もしくはセンターへの加入者数により按分</p>						【関連条文】 11-1, 12-1
事業効果	中小企業の従業者に対する福利厚生を充実させることで、雇用環境の改善ひいては地元就職希望者の増加に資する。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	95,253	21,117	20,136	20,000	18,000	16,000	
充当財源	定住自立圏活性化基金充当 (1/2, H22-H23)						

実施	全自治体						
分類	アー②勤労者福利厚生対策						(単位：千円)
事業名	<b>勤労者福祉サービスセンター加入促進事業</b>						
事業概要	<p>勤労者福祉サービスセンターの加入者を増やすため、関係団体等への周知・広報など加入促進に繋がる活動を行う。</p>						【関連条文】 11-2, 12-3
事業効果	加入者を増やすことにより、勤労者福祉サービスセンターの財政基盤強化を図る。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	—	—	—	—	—	—	
充当財源							

### ③産業の振興



#### 【概要】

企業誘致のための工業用地整備や、誘致活動の推進、従業者のためのインフラ整備等を行う。また、企業用地情報を共有するとともに共同発信を行う。

#### 【圏域の役割分担】

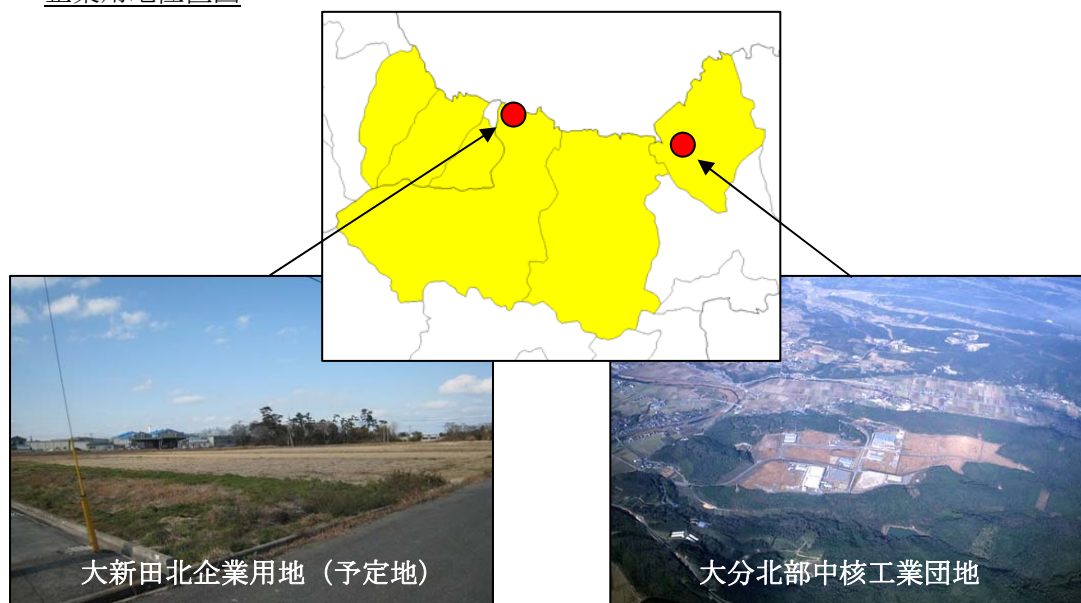
中津市は企業誘致を促進するため、大新田北企業用地を造成するほか、圏域の従業者等に対するIT関連の研修を行う施設を整備する。また、豊後高田市は、大分北部中核工業団地を中心とした企業誘致活動を行う。

両市は、従業者等の生活環境を改善するため、住宅施設や文化教育施設等の整備を行う。

#### 【事業内容】

- ・ 大新田北企業用地取得造成事業（中津市）
- ・ 大新田44号線道路改良事業（中津市）
- ・ 大分北部中核工業団地企業誘致推進事業（豊後高田市）
- ・ 従業者のための環境整備
  - コミュニティセンター建設事業（中津市）
  - 地域優良賃貸住宅整備事業（中津市）
  - 分譲団地造成事業（豊後高田市）
  - 新図書館の建設（豊後高田市）
  - 中津市木村記念美術館整備事業（中津市）
- ・ なかつ情報プラザ（仮称）整備事業（中津市）

企業用地位置図



実施	中津市						
分類	ア-③産業の振興						(単位：千円)
事業名	大新田北企業用地取得造成事業						
事業概要	大新田地区において企業用地の取得造成を行う。 第1期工事 A=7,446 m <sup>2</sup> 、第2期工事 A=20,988 m <sup>2</sup> (中津市土地開発公社で事業実施)						【関連条文】 豊後高田 15-1
事業効果	中津市北部の工業地域における新たな企業進出を促し、圏域の新たな雇用の創出に寄与する。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	—	—	—	—	—	—	
充当財源							

実施	中津市						
分類	アー③産業の振興						(単位：千円)
事業名	大新田44号線道路改良事業						
事業概要	大新田北企業用地と中津高田線を結ぶ市道の整備事業。 L=380m、W=9.25m						【関連条文】 豊後高田 15-1
事業効果	中津市北部の工業地域における新たな企業進出を促し、圏域の新たな雇用の創出のため整備する大新田北企業用地への円滑なアクセスが図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	99,100	94,000	5,100				
充当財源	社会資本整備総合交付金（55%）、合併特例債						

実施	中津市						
分類	アー③産業の振興						(単位：千円)
事業名	コミュニティセンター建設事業						
事業概要	地域の文化事業、コミュニティ活動の拠点となる施設を建設する。 【建設予定校区】 (小楠校区、如水校区、今津校区)						【関連条文】 豊後高田 15-2
事業効果	コミュニティセンターで実施される文化事業等を通して、住民の余暇活動の充実を図る。また、センターをコミュニティ連携の場として活用することで、コミュニティの一体感の醸成に寄与する。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	821,139		14,521	281,574	369,185	155,859	
充当財源							

実施	中津市						
分類	アー③産業の振興						(単位：千円)
事業名	<b>地域優良賃貸住宅整備事業</b>						
事業概要	京町地区に地域優良賃貸住宅を建設する。 木造2階建 4棟 8戸						【関連条文】 豊後高田 15-2
事業効果	一定の収入のある子育て世代を想定した住宅を建設することにより、地域で就労を希望する若年者の定住を推進する。また、地域人口が増加することによるコミュニティの活性化を図る。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	122,226	122,226					
充当財源	地域住宅交付金 (45%)						

実施	中津市						
分類	アー③産業の振興						(単位：千円)
事業名	<b>なかつ情報プラザ（仮称）整備事業</b>						
事業概要	圏域の求職者等に対するコンピュータ操作研修等を実施する施設を整備し、各種IT関係の研修を行う。						【関連条文】 豊後高田 15-3
事業効果	就業に必要とされるIT操作能力を向上させることで、従業員のキャリアアップに繋げる。また、資格取得等により求職者の求職活動をサポートする。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	154,150	154,150					
充当財源	中津市情報処理関係職業訓練支援基金						

実施	中津市						
分類	アー③産業の振興						(単位：千円)
事業名	中津市木村記念美術館整備事業						
事業概要	中山忠彦画伯の絵画など中津にゆかりの深い美術品を展示公開する公の美術館として、経年により痛んでいる本館壁面などを補修することで、美術に触れるにふさわしい環境を整備する。						【関連条文】 豊後高田市 15-3
事業効果	外観を含めた美術館の環境を整備することで、機能性が高まり、より多くの方に美術にふれてもらう機会を創出することができる。観光資源として、また、芸術文化活動の拠点としての役割を担う。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	10,684		10,684				
充当財源							

実施	豊後高田市						
分類	アー③産業の振興						(単位：千円)
事業名	大分北部中核工業団地企業誘致推進事業						
事業概要	大分県（大分県土地開発公社を含む。）、豊後高田市及び(独)中小企業基盤整備機構の三者で設置した大分北部中核工業団地企業誘致推進協議会の運営を負担し、大分北部中核工業団地への企業誘致活動を強力かつ円滑に推進する。						【関連条文】 14-1
事業効果	大分北部中核工業団地への企業立地が推進されることにより、市内の新たな雇用の創出に寄与する。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	2,500	500	500	500	500	500	
充当財源							

実施	豊後高田市						
分類	アー③産業の振興						(単位：千円)
事業名	<b>分譲団地造成事業</b>						
事業概要	現在分譲中の団地（三友分譲団地1区画）及び平成23年度販売開始予定の大村分譲団地7区画の販売促進を図るとともに、新たな分譲地の造成にも取り組む。						【関連条文】 14-2
事業効果	大分北部中核工業団地等の企業で働く従業員のための住環境の整備を図るとともに、地域での就労を希望する若者の定住を推進する。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	792,956	668	318,825	245,413	228,050		
充当財源	過疎債						

実施	豊後高田市						
分類	アー③産業の振興						(単位：千円)
事業名	<b>新図書館の建設</b>						
事業概要	生涯学習の拠点となりうる新たな図書館の整備を図り、インターネットや図書館の分館を活用することにより、地域間格差のないサービス体制を拡充するとともに、協定市相互間のネットワークの充実や読書ニーズに沿った蔵書及びその他必要な資料の充実を図る。						【関連条文】 14-2
事業効果	生涯学習施設としての図書館は、協定市相互間の教育・文化の発展に寄与するとともに、人づくり、まちの活性化に効果的である。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	954,551	20,141	323,320	611,090			
充当財源	過疎債						

イ 結びつきやネットワークの強化

①公共交通

【概要】

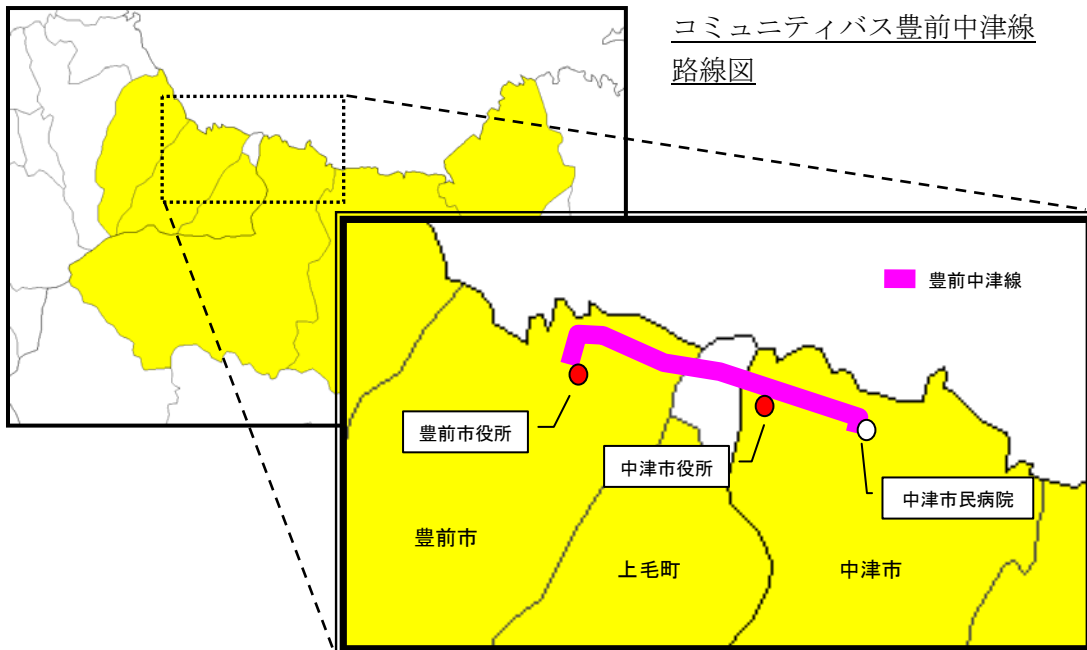
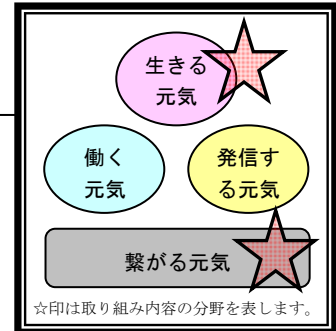
病院等圏域の生活機能を確保するための施設に対するアクセス向上のため、コミュニティバスの路線新設や既存路線との連携を検討する。

【圏域の役割分担】

中津市及び豊前市は、豊前市中心部より中津市民病院等へ至るコミュニティバス路線を新設し、共同で運行にあたるほか、既存の公共交通ネットワークとの連携を推進する。

【事業内容】

- ・ コミュニティバス豊前中津線運行事業（中津市・豊前市）



実施	中津市・豊前市						
分類	イー①公共交通						(単位：千円)
事業名	コミュニティバス豊前中津線運行事業						
事業概要	豊前市中心部と中津市民病院を結ぶコミュニティバスを、豊前市と中津市の共同で運行する。(運行距離 11.8km) <b>【負担金算定の考え方】</b> バス路線の運行距離に応じて費用を按分						<b>【関連条文】</b> 豊前 14-1、中津 15-1
事業効果	増加する高齢者に対し、医療機関や圏域中心市中心部への移動手段を確保することができる。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	41,736	10,800	7,734	7,734	7,734	7,734	
充当財源	大分県生活交通路線支援費補助金 (1/3)						

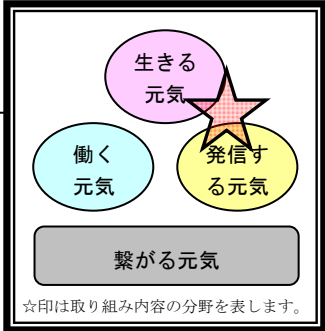
②定住・移住促進

**【概要】**  
 定住・移住促進のための空家等の情報を圏域内で集約し、共同で情報発信する。

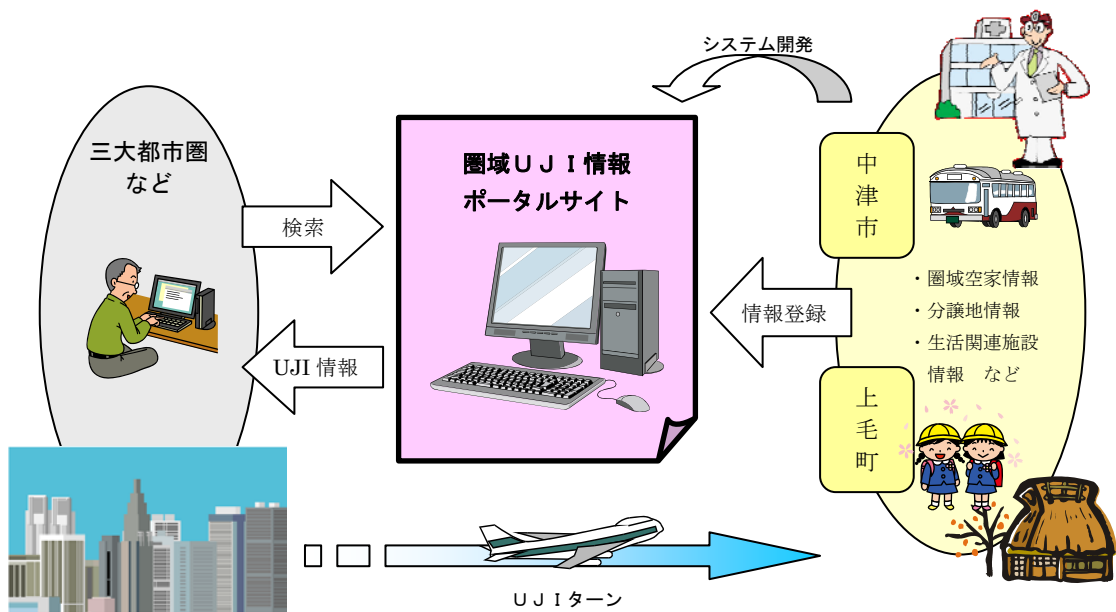
**【圏域の役割分担】**  
 中津市は、中津市及び上毛町の空家情報等をインターネット発信するため、WEBページの作成を行う。  
 上毛町はUJIターン希望者等に対する空家情報等を集約するほか、中津市とともに移住希望者に対する情報提供等を行う。

**【事業内容】**

- ・ 空家情報発信WEBサイト作成事業（中津市）
- ・ 空家調査・情報発信事業（上毛町）



UJIターン情報共同発信イメージ図



実施	中津市						
分類	イー②定住・移住促進						(単位：千円)
事業名	<b>空家情報発信WEBサイト作成事業</b>						
事業概要	中津市と上毛町内にある空家情報等を生活に必要な諸情報とあわせて共同発信するためのWEBサイト作成。						【関連条文】 上毛 15-1
事業効果	U J I ターンを希望する人に利用可能な不動産情報を圏域の生活情報等とあわせて提供することで、圏域の魅力をさまざまな角度から提供し、都市部からの移住促進を図る。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	1,000			1,000			HP作成委託料
充当財源							

実施	上毛町						
分類	イー②定住・移住促進						(単位：千円)
事業名	<b>空家調査・情報発信事業</b>						
事業概要	交流・定住促進施策の一環として空き家の利活用が必要と考えられるため、上毛町、中津市圏域の魅力・地域資源を共有しつつ、空家情報を中津市と共同発信し、交流から移住・定住へと繋がる施策へと発展させるために、空家調査事業を行う。						【関連条文】 14
事業効果	調査結果をもとに、売買等を希望する空家の把握及びその所有者の意向等詳細な情報を付加し、上毛町、中津市圏域の広範囲の魅力・地域資源と共に利用希望者へ情報発信していくことで定住・移住促進を図っていく。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	800	400	100	100	100	100	
充当財源							

### ③圏域内外の住民との交流

#### 【概要】

圏域の交通ネットワークを活用した広域観光ネットワークを形成し、圏域の観光振興及び圏域内外の住民との交流を推進する。

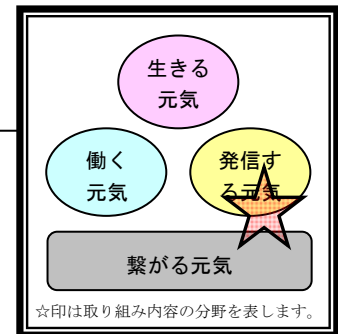
#### 【圏域の役割分担】

中津市は、広域観光パンフレットや案内看板の整備に関する調整を行う。

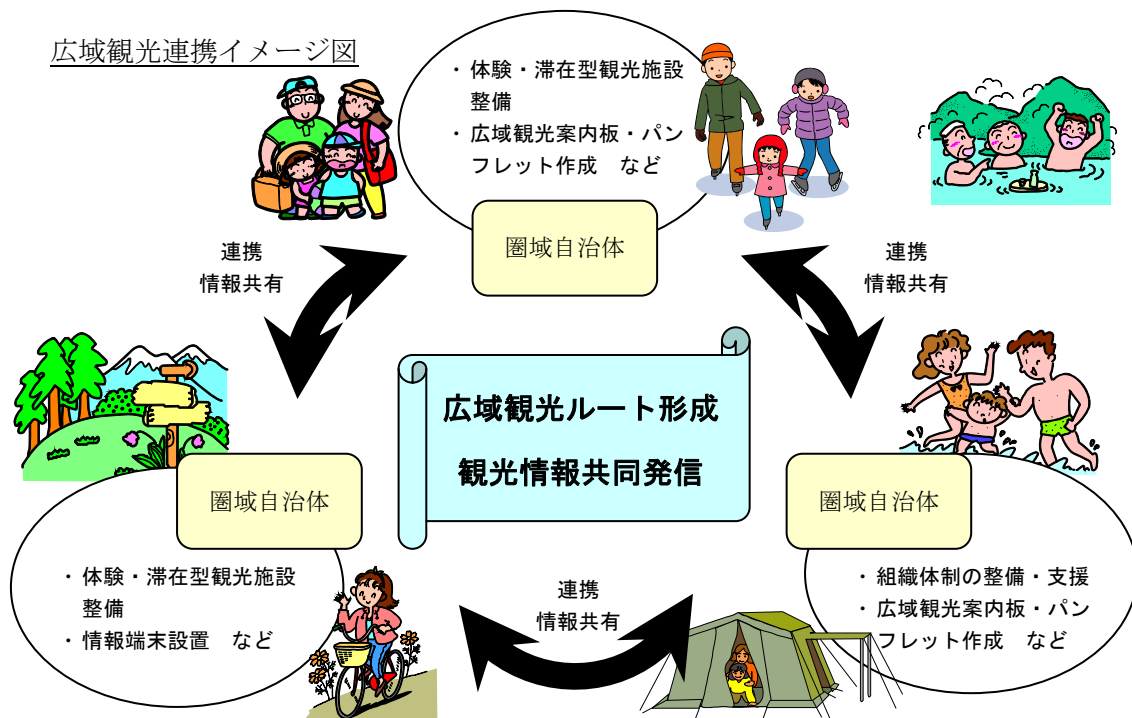
圏域自治体は、圏域の持つさまざまな観光資源の連携を図るため、観光情報を相互に発信するほか、圏域外の住民との交流を推進するため、体験型・滞在型観光の振興に資する取組を行う。

#### 【事業内容】

- ・ 広域観光パンフレット作成（全自治体）
- ・ 広域観光案内板整備（中津市・築上町）
- ・ 広域観光情報相互発信事業（全自治体）
- ・ 広域観光PR促進グッズ作製事業（宇佐市）
- ・ 観光交流促進事業（上毛町）
- ・ 滞在型・体験型観光施設整備
  - 津民河川プール整備事業（中津市）
  - 岩岳川河川公園整備事業（豊前市）
  - 体験・滞在型施設改修事業（築上町）
  - 耶馬溪アクアパーク駐車場整備事業（中津市）
- ・ 組織体制の整備・支援事業
  - 広域ガイド研修事業（宇佐市）
  - 農山漁村ツーリズム拠点整備重点支援事業（豊後高田市）
  - 豊後高田市ブルーツーリズム基盤整備事業（豊後高田市）
  - 体験・滞在型交流支援事業（豊前市）
  - 広域観光拠点施設の環境整備（豊前市）



広域観光連携イメージ図



実施	中津市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	広域観光パンフレット作成事業						
事業概要	福岡県築上町から大分県豊後高田市までの、広域パンフレット及びマップ作成。						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 18-2 宇佐、築上 15-2
事業効果	圏域のもつ観光資源相互の連携を図り、広域観光ルート形成と合わせて交流人口の増加を目指す。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	2,363	700	663	1,000			
充当財源							

実施	中津市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>広域観光案内板整備事業</b>						
事業概要	広域観光看板の整備を行う。 新規設置・・・中津城公園地・大貞公園アリーナ周辺・本耶馬溪公共駐 車場・耶馬溪公共駐車場 変更・・・福沢旧居ほか						<b>【関連条文】</b> 豊後高田、豊 前、上毛 18-2 宇佐、築上 15-2
事業効果	圏域のもつ観光資源相互の連携を図り、広域観光ルート形成と合わせて交流人口の増加を目指す。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	4,500	2,500	1,000	1,000			
充当財源							

実施	全自治体						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>広域観光情報相互発信事業</b>						
事業概要	圏域内の観光案内施設等において、お互いの圏域の観光施設に関 するパンフレットの配布などの情報発信を行う。						<b>【関連条文】</b> 豊後高田、豊 前、上毛 17-3, 18-3 宇佐、築上 14-3, 15-3
事業効果	圏域のもつ観光資源相互の連携を図り、広域観光ルート形成と合わせて交流人口の増加を目指す。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	—	—	—	—	—	—	
充当財源							

実施	中津市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>津民河川プール整備事業</b>						
事業概要	津民河川プールの駐車場舗装事業を行う。 A=2,100 m <sup>2</sup>						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 18-1 宇佐、築上 15-1
事業効果	山間部の景観や自然を活かした体験型施設の整備により、都市部からの利用客増加を目指す。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	15,346	15,346					
充当財源	合併特例債						

実施	中津市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>耶馬溪アクアパーク駐車場整備事業</b>						
事業概要	耶馬溪アクアパークの駐車場舗装事業を行う。 A=850 m <sup>2</sup>						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 18-1 宇佐、築上 15-1
事業効果	山間部の景観や自然を活かした体験型施設の整備により、都市部からの利用者の増加や利便性の向上を目指す。また、本施設では水上スキーやウェイクボードの国際大会などが年数回開催されており、その際の駐車場不足による周辺市道の渋滞解消にも効果がある。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	10,000		10,000				
充当財源	合併特例債						

実施	宇佐市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	JR 柳ヶ浦駅・JR 宇佐駅観光発信情報事業						
事業概要	宇佐市の交通機関の要である JR の 2 駅に広域観光マップ、パンフレットを作成、設置する。						【関連条文】 14-2
事業効果	広域的視点での観光マップ、パンフレットを作成、設置することにより、宇佐市を訪れる観光客等に対して、圏域全体のきめ細かな情報提供ができ、圏域全体の観光振興が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	備考
	1,000	200	200	200	200	200	
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	広域ガイド研修事業						
事業概要	圏域を総合的に案内できるガイド養成研修を行う。						【関連条文】 14-2
事業効果	広域的視点で観光ガイドの研修を行うことにより、圏域を総合的に案内するガイドを養成することでき、圏域全体の観光振興が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	備考
	900	200	100	200	200	200	
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>広域観光 PR 促進グッズ作製事業</b>						
事業概要	圏域観光 PR 促進グッズを作製し、都市部等での観光宣伝に活用していく。						【関連条文】 14-2
事業効果	広域的視点での観光 PR グッズを作製することにより、都市部等で圏域を PR することができ、圏域への誘客促進とともに、圏域全体の観光振興が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	備考
	1,450	400	150	300	300	300	
充当財源							

実施	豊後高田市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>農山漁村ツーリズム拠点整備重点支援事業</b>						
事業概要	農山漁村におけるツーリズム拠点の整備を行う。 1. 都市農村交流を推進する受入組織の体制作り 2. 農家民宿開業希望者に対する各種宿泊研修及び開業指導 3. 地域の特性を活かした体験メニュー作り 4. PR用のパンフレット作成						【関連条文】 17-1
事業効果	都市住民らによる農山漁村での余暇活動を通じて農業者の所得向上さらには地域経済の活性化が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	備考
	—	—	—	—	—	—	
充当財源							

実施	豊後高田市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>豊後高田市ブルーツーリズム基盤整備事業</b>						
事業概要	従来から取り組まれている、建干し網体験・地引き網体験・かご網体験等の受入プログラムによる更なる観光戦略と、地元特産品を活用しての食と既プログラムの組み合わせによる新たな受入プログラムによる体験型観光の推進を目指す。						【関連条文】 17-1
事業効果	豊富な自然を地域独自の発想により上手に活用し、そこに住む人・自然をそのまま都市住民に見せ触れさせることで、近年の自然派志向にマッチした観光開発が可能となり、それによる地域所得の向上に繋がる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	4,000	500	3,500				
充当財源							

実施	豊後高田市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>広域観光パンフレット製作事業</b>						
事業概要	「昭和の町」や「田染荘」などの市内の観光拠点や体験型観光コースの情報及び定住自立圏内の観光情報を掲載した広域観光促進を図るためのパンフレットを作成するもの。						【関連条文】 17-2
事業効果	圏域内の観光拠点や体験型観光コースを広く定住自立圏域内外の住民に周知することが可能となり、自立圏内外からの誘客促進が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	1,000	200	200	200	200	200	
充当財源							

実施	豊前市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>岩岳川河川公園整備事業</b>						
事業概要	求菩提キャンプ場の付近の岩岳川に河川プール、駐車場等を整備する。						【関連条文】 17-1
事業効果	自然を生かした体験施設の整備により周辺施設等の利用者の増加を目指し、地域の活性化が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	2,900		2,900				
充当財源							

実施	豊前市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>体験・滞在型交流支援事業</b>						
事業概要	求菩提キャンプ場のログハウス施設等を活用し、地元住民との交流による滞在型の農業体験、史跡めぐり、自然体験等のプログラムを作成し、また地元住民の受け入れ組織の体制作りを支援し、地域の活性化を図る。具体的には平成23年度より森林セラピー基地調査事業、景観農業振興整備事業、グリーンツーリズム研究会の立ち上げを行い、事業の推進を図る。						【関連条文】 17-1
事業効果	地域の特性を生かした体験・滞在型の都市住民と地元住民の交流により、地域経済及び地域の活性化が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	37,940	30	2,660	19,750	7,750	7,750	
充当財源							

実施	豊前市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>観光情報相互発信事業</b>						
事業概要	市内の観光案内施設等において、観光情報端末の導入及びお互いの圏域の観光施設に関するパンフレットの配布などの情報発信を行う。						【関連条文】 17-3
事業効果	圏域のもつ観光資源相互の連携を図り、広域観光ルート形成と合わせて交流人口の増加を目指す。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	4,500	3,300	300	300	300	300	
充当財源							

実施	豊前市						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>広域観光拠点施設の環境整備</b>						
事業概要	豊前市では旧築上北高校の跡地利用として、文化施設の整備を進めているが、その中で、多目的文化交流センター（京築神楽伝統文化会館）を広域観光の拠点施設と位置付け、併せて、隣接する向原池周辺及び敷地内の環境整備を行うことで豊前市の観光イメージである“遊、食、自然の里 ぶぜん”のアピールを図り、圏域外の住民との交流拠点とする。						【関連条文】 17-1
事業効果	様々な地域資源を有する豊前市において、その情報拠点を整備することで一元的な観光情報のPRが可能となり、また自然豊かな地域をイメージする環境整備を行うことで圏域外の住民にその魅力をアピールできる。さらに、森林セラピー基地の取組やグリーンツーリズム事業との相乗効果も期待できる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	137,600		7,600	100,000	30,000		
充当財源							

実施	築上町						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>体験・滞在型施設改修事業</b>						
事業概要	龍城院キャンプ場のトイレ・バンガローや牧の原キャンプ場の山小屋等の老朽化が進んでおり、これらをリニューアルする事で、体験・滞在型施設の充実を図る。						【関連条文】 14-1
事業効果	観光入り込み客の増加による所得の増加と、圏域内の住民の交流が活性化され、また滞在していただくことで、魅力をアピールし、定住者の増加に繋げる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	600	600					
充当財源							

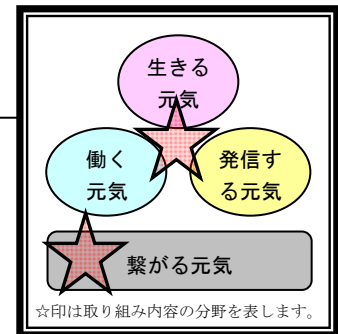
実施	築上町						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>観光案内板設置事業</b>						
事業概要	広域観光情報を掲載した観光案内板を作成し、町内名所や各種施設に設置する。						【関連条文】 14-2
事業効果	圏域のもつ観光資源相互の連携を図り、広域観光ルート形成と合わせて広域的な情報発信を行い、交流人口の増加を目指す。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	500	250	250				
充当財源							

実施	築上町						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>広域観光連携情報発信事業</b>						
事業概要	各観光協会の連携による広域観光パンフレットやホームページの構築、土産品の開発等。 インターネットの活用や、紹介動画、映像の制作など、圏域の観光地を繋げる広域観光ルートに関する情報発信を行う。						【関連条文】 14-3
事業効果	観光入り込み客の増加による所得の増加と、圏域内の住民の交流が活性化され、また住み良い圏域をPRする事で、定住者の増加を見込める。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	1,000	500	500				
充当財源							

実施	上毛町						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	<b>観光交流促進事業</b>						
事業概要	大池公園内の宿泊施設ログハウスにおいて、利用が少ない時期を活用して、宿泊・体験型観光プログラムを広域的に呼びかけ、地域と連携して実施することで圏域内外の住民との交流の推進を図っていく。						【関連条文】 17-1
事業効果	圏域内外住民との交流を目的に、施設の管理者と協議しながら地域住民との連携で体験型交流事業を実施し、さらに圏域の観光資源の情報を相互に発信していくことで観光の振興が図られ、圏域内外の住民同士との交流が盛んになる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	—	—	—	—	—	—	
充当財源							

実施	上毛町						
分類	イー③圏域内外の住民との交流						(単位：千円)
事業名	広域観光パンフレット作成事業						
事業概要	圏域全体の観光振興を推進するために、広域観光パンフレットやルートマップ等を共同で作成する。						【関連条文】 17-2
事業効果	広域でパンフレット等を作成、配布することにより、圏域のもつ観光資源の相互連携による利用向上を図り、交流人口の増加を目指す。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	562	300	162	100			
充当財源							

#### ④広域道路網の整備



##### 【概要】

病院等圏域の生活機能を確保するための施設に対するアクセス向上のための道路整備や、広域的な道路ネットワークの整備促進を行う。

##### 【圏域の役割分担】

中津市は、中津市民病院へのアクセスを改善するための市道整備を行う。また、圏域を結ぶ広域道路ネットワークの整備促進に繋がる取組を圏域自治体と協力して行う。

圏域自治体は、圏域の生活機能を確保するための施設や広域道路ネットワークへのアクセス改善のために必要な道路の整備等を行う。

##### 【事業内容】

- ・ 拠点施設アクセス道路整備
  - 市道市民病院線道路整備事業（中津市）
- ・ 広域道路網建設促進事業
  - 広域道路網建設負担金等（中津市、宇佐市、豊後高田市）
  - 建設に伴う周辺地域整備事業（宇佐市）
- ・ 広域道路網アクセス道路等整備
  - 市道下池永西大新田線外1線道路整備事業（中津市）
  - 市道荒堀・下河内線道路整備事業（豊前市）
  - 市道四郎丸・野田線道路整備事業（豊前市）
  - 市道岸井・鬼木線道路整備事業（豊前市）
  - スマートIC建設事業（上毛町）

##### 【資料】

\* 定住自立圏関連道路網位置図（参考資料P59）

実施	中津市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	市道市民病院線道路整備事業						
事業概要	中津市民病院へのアクセス改善のための道路拡幅整備事業。県道中津吉富線と国道213号を結ぶ両歩道(2.5m幅)付きの2車線道路を整備する。 計画延長L=360m、幅員W=12m						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛21-1 宇佐、築上18-1
事業効果	建替後の中津市民病院駐車場へのアクセス改善及び周辺道路を含めた混雑解消、歩行者の安全空間の確保、地域住民の交通の利便性の向上が見込まれる。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	350,000	180,000	70,000	100,000			
充当財源	社会資本整備総合交付金(55%)、合併特例債						

実施	中津市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	市道下池永西大新田線外1線道路整備事業						
事業概要	中津市民病院へのアクセス改善のための道路新設整備事業。主要地方道中津高田線より整備済の市道大新田11号線(幅員12m)を経由し、市道牛神舞手川線交差点からJR日豊線を越え市道市民病院線に接続する路線の新設を行う。 計画延長L=550m、幅員W=12m						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛21-2 宇佐、築上18-2
事業効果	市北部より中津市民病院へのアクセス時間の短縮及び周辺道路の混雑解消、歩行者の安全空間の確保、地域住民の交通の利便性の向上が見込まれる。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	50,000					50,000	
充当財源	社会資本整備総合交付金(55%)						

実施	中津市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	中津日田地域高規格道路側道建設負担金						
事業概要	高規格道路に沿った側道や市道をつなぐボックスカルバートの新設、拡幅等。 計画延長 L=28,900m、幅員 W=5m						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 21-2 宇佐、築上 18-2
事業効果	圏域と日田市を南北に結ぶ道路網の整備により、企業の物流の円滑化及び広域観光ルートの形成が見込まれる。また、東九州自動車道や国道10号、県道中津高田線とのネットワークにより、圏域全体の広域道路ネットワークを形成する。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	75,000	60,000	10,000	5,000			
充当財源	合併特例債						

実施	中津市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	県施工道路（県道円座中津線）事業負担金						
事業概要	中津日田地域高規格道路整備に伴う三光ICと県道中津円座線の接続部分の整備に係る負担金						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 21-2 宇佐、築上 18-2
事業効果	圏域と日田市を南北に結ぶ道路網の整備により、企業の物流の円滑化及び広域観光ルートの形成が見込まれる。また、東九州自動車道や国道10号、県道中津高田線とのネットワークにより、圏域全体の広域道路ネットワークを形成する。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	22,205		5,014	2,865	7,163	7,163	
充当財源							

実施	中津市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	県施工道路（国道 500 号）事業負担金						
事業概要	中津日田地域高規格道路整備に伴う羅漢寺 I C と国道 500 号の接続部分の整備に係る負担金						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 21-2 宇佐、築上 18-2
事業効果	圏域と日田市を南北に結ぶ道路網の整備により、企業の物流の円滑化及び広域観光ルートの形成が見込まれる。また、東九州自動車道や国道 10 号、県道中津高田線とのネットワークにより、圏域全体の広域道路ネットワークを形成する。						
年度別事業費	概算事業費	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	備考
	15,042		716	7,163	7,163		
充当財源							

実施	中津市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	県道中津高田線道路改良工事負担金						
事業概要	県道整備事業に対する負担金 計画延長 L=4,900m、幅員 W=40m						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 21-2 宇佐、築上 18-2
事業効果	豊後高田市、宇佐市と中津市を東西に結ぶ幹線道路の整備により、企業の物流の円滑化及び広域観光ルートの形成、さらには市民病院への救急搬送時間の短縮等が見込まれる。						
年度別事業費	概算事業費	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	備考
	33,960	4,500	11,460	7,500	10,500		
充当財源							

実施	中津市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	県道中津高田線取付工事負担金						
事業概要	県道と市道との接続部分の整備に関する負担金（4箇所）						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 21-2 宇佐、築上 18-2
事業効果	豊後高田市、宇佐市と中津市を東西に結ぶ幹線道路の整備により、企業の物流の円滑化及び広域観光ルートの形成、さらには市民病院への救急搬送時間の短縮等が見込まれる。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	21,000	20,000	1,000				
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	宇佐国見高規格道路建設促進事業						
事業概要	宇佐国見高規格道路建設促進期成会負担金。						【関連条文】 17
事業効果	圏域と国東市を結び、周防灘フェリーから東九州自動車道へアクセスする宇佐国見高規格道路を早期建設することにより圏域全体の広域道路ネットワークが形成できるとともに、産業、経済、観光の振興が図られる。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	400	80	80	80	80	80	
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	中津日田道路建設促進事業						
事業概要	中津日田間地域高規格道路促進期成会負担金。						【関連条文】 17
事業効果	圏域と日田市を結ぶ中津日田地域高規格道路の早期建設により、広域観光ルートの形成が見込まれる。また、圏域全体の広域道路ネットワークが形成できるとともに、産業、経済等の振興が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	500	100	100	100	100	100	
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	東九州自動車道建設促進事業						
事業概要	東九州自動車道大分県北建設促進期成会負担金。						【関連条文】 17
事業効果	圏域を東西に結ぶ東九州自動車道の建設により、広域観光ルート及び圏域全体の高速交通ネットワークの形成が見込まれる。また、圏域全体の産業、経済の振興が図れるとともに、圏域内の交流の促進が一層図れ、圏域全体の発展が見込まれる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	800	160	160	160	160	160	
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	東九州自動車道整備に伴う今成地区周辺整備事業						
事業概要	東九州自動車道整備のための工事用道路の整備。 《市道今成北2号線道路改良》 L=300m W=4.0m						【関連条文】 17
事業効果	工事用道路として利用するとともに、道路整備が地元住民との東九州自動車道の用地取得の条件にもなっているため、道路整備により東九州自動車道の早期完成が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	21,500	11,500	10,000				
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	東九州自動車道整備に伴う南赤尾地区周辺整備事業						
事業概要	東九州自動車道の雨水排水のための水路改修。 《市道大根川・船越線水路改修》 L=250.0m						【関連条文】 17
事業効果	東九州自動車道の建設には雨水排水を流す流末経路の整備が必要不可欠であるとともに、地元住民との東九州自動車道の用地取得の条件にもなっているため、水路改修により東九州自動車道の早期完成が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	13,400	13,400					
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	東九州自動車道整備に伴う木内地区周辺整備事業						
事業概要	東九州自動車道の雨水排水を流すための河川改修。 《木内川河川改修》 L=220m						【関連条文】 17
事業効果	東九州自動車道の雨水排水を流す計画であるが、雨水排水を流すことにより民家の浸水等の危険性があることから東九州自動車道の整備に必要不可欠な整備である。また、地元住民との東九州自動車道の用地取得の条件にもなっているため、河川改修により早期完成が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	43,700	4,000	39,700				
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	東九州自動車道整備に伴う赤尾地区周辺整備事業						
事業概要	東九州自動車道の雨水排水のための水路改修。 《本谷上池上流部水路改修》 L=187.0m						【関連条文】 17
事業効果	東九州自動車道の建設には雨水排水を流す流末経路の整備が必要不可欠であるとともに、地元住民との東九州自動車道の用地取得の条件にもなっているため、水路改修により東九州自動車道の早期完成が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	14,300		14,300				
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	東九州自動車道整備に伴う山本地区周辺整備事業						
事業概要	東九州自動車道の雨水排水のための水路改修。 《山本・山積神社線水路改修》 L=20.0m						【関連条文】 17
事業効果	東九州自動車道の建設には雨水排水を流す流末経路の整備が必要不可欠であるとともに、地元住民との東九州自動車道の用地取得の条件にもなっているため、水路改修により東九州自動車道の早期完成が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	3,000			3,000			
充当財源							

実施	宇佐市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	東九州自動車道整備に伴う上赤尾地区周辺整備事業						
事業概要	東九州自動車道のための工事用道路の整備 《林道本谷線道路改良工事》 L=200m、W=3.5m、旋回広場設置 1.0箇所						【関連条文】 17
事業効果	東九州自動車道建設工事用道路として利用するとともに、道路整備が地元住民との東九州自動車道の用地取得の条件にもなっているため、道路整備により東九州自動車道の早期完成が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	1,300		1,300				
充当財源							

実施	豊後高田市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	宇佐国見高規格道路建設促進事業						
事業概要	宇佐国見高規格道路建設促進期成会負担金。						【関連条文】 20
事業効果	国東半島西側地域の産業、経済、観光の振興発展の軸となる東九州自動車道へアクセスする、宇佐国見高規格道路の早期建設が図られる。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	500	100	100	100	100	100	
充当財源							

実施	豊前市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	市道荒堀・下河内線道路整備事業						
事業概要	国道10号へのアクセス改善のための道路拡幅整備事業。 計画延長 L=600m、幅員 W=10.25m						【関連条文】 20-1
事業効果	主要な交通ネットワークである国道10号に対するアクセスを改善する。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	5,000		5,000				
充当財源	道整備交付金(50%)、公共事業等債						

実施	豊前市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	市道四郎丸・野田線道路整備事業						
事業概要	国道10号へのアクセス改善のための道路拡幅整備事業。 計画延長 L=1400m、幅員 W=9.75m						【関連条文】 20-1
事業効果	主要な交通ネットワークである国道10号に対するアクセスを改善する。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	34,826	34,826					
充当財源	道整備交付金(50%)、公共事業等債						

実施	豊前市						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	市道岸井・鬼木線道路整備事業						
事業概要	国道10号へのアクセス改善のための道路拡幅整備事業。 計画延長 L=800m、幅員 W=7.0m						【関連条文】 20-1
事業効果	主要な交通ネットワークである国道10号に対するアクセスを改善する。						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	52,050	30,000	22,050				
充当財源	道整備交付金(50%)、公共事業等債						

実施	上毛町						
分類	イー④広域道路網の整備						(単位：千円)
事業名	スマートIC建設事業						
事業概要	<p>主要な交通ネットワークを形成する東九州自動車道に対するアクセスの向上を図るため、上毛町区間に設置予定の（仮称）大平パーキングエリアにスマートICを設置する。</p>						【関連条文】 20-1
事業効果	<p>交通基盤の充実により利便性が向上することによって、産業振興や観光入込み者数の増加にも繋がり、ひいては住民の定住意識の醸成や移住者の増にも繋がることと期待されている。また、迅速な救急医療体制の構築の観点からもスマートICの必要性は高く、住民にとって安心・安全なまちづくりを進める上でも重要な役割を担うものである。</p>						
年度別 事業費	概算 事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	430,135	9,000	9,135	55,000	178,500	178,500	
充当財源							

## ウ 圏域マネジメント能力の強化

### ①圏域マネジメント能力の強化

#### 【概要】

圏域自治体職員の資質向上のための合同研修の開催や、人材交流の推進、圏域外からの専門家の招聘等を行う。

#### 【圏域の役割分担】

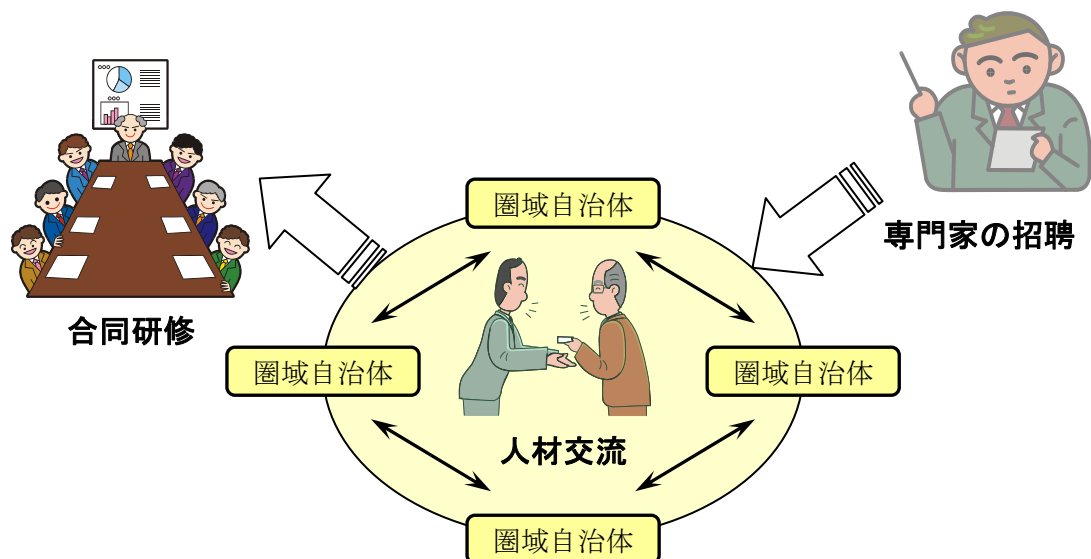
中津市は、圏域自治体職員の資質向上のための研修を実施する。また、マネジメント能力向上のための取り組みに対し、専門家の招聘等を行う。

圏域自治体は、相互の職員交流に繋がる取組を推進する。

#### 【事業内容】

- ・ 中堅職員合同研修事業（中津市）
- ・ 圏域マネジメントセミナー事業（中津市）
- ・ 圏域職員交流事業（全自治体）

マネジメント能力強化イメージ図



実施	中津市						
分類	ウー①圏域マネジメント能力の強化						(単位：千円)
事業名	中堅職員合同研修事業						
事業概要	中堅職員の政策形成能力等向上のための合同研修の実施。 (講師謝礼及び会場使用料)						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 24-1 宇佐、築上 21-1
事業効果	特に今後自治体の政策形成等に関わっていく中堅職員に対し、政策形成能力や中長期ビジョンの作成などに関する研修を行い、職員の資質向上を図る。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	2,030	550	370	370	370	370	
充当財源							

実施	中津市						
分類	ウー①圏域マネジメント能力の強化						(単位：千円)
事業名	<b>圏域マネジメントセミナー事業</b>						
事業概要	圏域職員のマネジメント能力向上のため、大学等より学識経験者等を招聘し、啓発セミナーや講演会を実施する。						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 24-3 宇佐、築上 21-3
事業効果	学識経験者等専門家により、地方自治に関する最新の動向や研究、圏域外における先進事例に関する情報を得ることで、自治体職員の見識を高める。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	2,000	400	400	400	400	400	
充当財源							

実施	全自治体						
分類	ウー①圏域マネジメント能力の強化						(単位：千円)
事業名	<b>圏域職員交流事業</b>						
事業概要	圏域自治体間による職員の派遣、交換等相互交流を検討する。 (実施時期未定)						【関連条文】 豊後高田、豊前、上毛 23-2, 24-4 宇佐、築上 20-2, 21-4
事業効果	圏域の一体感の醸成及び職員の見識を広げることによる事業遂行能力の向上等に貢献する。						
年度別事業費	概算事業費	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	備考
	—	—	—	—	—	—	
充当財源							

## 【年度別事業計画・総括票】

(単位：千円)

事業区分		事業名	事業主体	関連条文	概算事業費 (見込)	年度区分				
視点	連携項目					22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
ア. 生活機能の強化	①小児救急医療体制の確保	小児救急センター支援事業	全自治体	—	188,164	14,500	10,782	10,782	76,050	76,050
		〃 (各自治体負担金内訳)	中津市	9-1	155,761	12,003	8,924	8,924	62,955	62,955
		〃	宇佐市	8-1	19,206	1,480	1,101	1,101	7,762	7,762
		〃	豊後高田市	8-1	5,424	418	311	311	2,192	2,192
		〃	豊前市	8-1	4,919	379	282	282	1,988	1,988
		〃	築上町	8-1	921	71	53	53	372	372
		〃	上毛町	8-1	1,933	149	111	111	781	781
		中津市ドクターバンク事業	中津市	9-4	520	400	30	30	30	30
		小児救急医療啓発事業	全自治体	—	2,250		2,250			
		小児救急センター整備事業	中津市	9-2	89,203	0	8,920	80,283	0	0
	②勤労者福利厚生対策	勤労者福祉サービスセンター運営事業	全自治体	—	95,253	21,117	20,136	20,000	18,000	16,000
		〃 (各自治体負担金内訳)	中津市	12-1	65,249	17,118	16,263	12,033	10,579	9,256
		〃	宇佐市	11-1	18,237	2,580	2,460	4,888	4,399	3,910
		〃	豊後高田市	11-1	7,414	1,049	1,000	1,987	1,788	1,590
		〃	豊前市	11-1	3,368	343	359	860	910	896

事業区分		事業名	事業主体	関連条文	概算事業費 (見込)	年度区分				
視点	連携項目					22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
		〃	築上町	11-1	452	0	0	116	162	174
		〃	上毛町	11-1	533	27	54	116	162	174
		勤労者福祉サービスセンター 加入促進事業	全自治体	—	—					
	③産業の振興	大新田北企業用地造成事業	中津市	豊後高田 15-1	—					
		大新田44号線道路改良事業	中津市	豊後高田 15-1	99,100	94,000	5,100	0	0	0
		コミュニティセンター建設事業	中津市	豊後高田 15-2	821,139	0	14,521	281,574	369,185	155,859
		地域優良賃貸住宅整備事業	中津市	豊後高田 15-2	122,226	122,226	0	0	0	0
		なかつ情報プラザ(仮称)整備事業	中津市	豊後高田 15-3	154,150	154,150	0	0	0	0
		中津市木村記念美術館整備事業	中津市	豊後高田 15-3	10,684	0	10,684	0	0	0
		大分北部中核工業団地企業誘致推進事業	豊後高田市	14-1	2,500	500	500	500	500	500
		分譲団地造成事業	豊後高田市	14-2	792,956	668	318,825	245,413	228,050	0
		新図書館の建設	豊後高田市	14-2	954,551	20,141	323,320	611,090	0	0

(単位：千円)

事業区分		事業名	事業主体	関連条文	概算事業費 (見込)	年度区分				
視点	連携項目					22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
イ. 結びつきやネットワークの強化	①公共交通	コミュニティバス豊前中津線 (仮称) 運行事業	中津市 豊前市	—	41,736	10,800	7,734	7,734	7,734	7,734
		〃 (各自治体負担金内訳)	中津市	豊前 15-1	13,377	3,417	2,490	2,490	2,490	2,490
		〃	豊前市	14-1	28,359	7,383	5,244	5,244	5,244	5,244
	②定住・移住 促進	空家情報発信WEBサイト作成事業	中津市	上毛 15-1	1,000	0	0	1,000	0	0
		空家調査・情報発信事業	上毛町	14	800	400	100	100	100	100
	③圏域内外の 住民との交流	広域観光パンフレット作成事業	中津市	15-2 (18-2)	2,363	700	663	1,000	0	0
		広域観光案内板整備事業	中津市	15-2 (18-2)	4,500	2,500	1,000	1,000	0	0
		広域観光情報相互発信事業	全自治体	—	—					
		津民河川プール整備事業	中津市	15-1 (18-1)	15,346	15,346	0	0	0	0
		耶馬溪アクアパーク駐車場整備事業	中津市	15-1 (18-1)	10,000	0	10,000	0	0	0
		JR柳ヶ浦駅・JR宇佐駅観光発信情報事業	宇佐市	14-2	1,000	200	200	200	200	200
		広域ガイド研修事業	宇佐市	14-2	900	200	100	200	200	200
		広域観光PR促進グッズ作製事業	宇佐市	14-2	1,450	400	150	300	300	300
農山漁村ツーリズム拠点整備重点支援事業		豊後高田市	17-1	—						
豊後高田市ブルーツーリズム基盤整備事業	豊後高田市	17-1	4,000	500	3,500	0	0	0		

事業区分		事業名	事業主体	関連条文	概算事業費 (見込)	年度区分				
視点	連携項目					22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
		広域観光パンフレット製作事業	豊後高田市	17-2	1,000	200	200	200	200	200
		岩岳川河川公園整備事業	豊前市	17-1	2,900	0	2,900	0	0	0
		体験・滞在型交流支援事業	豊前市	17-1	37,940	30	2,660	19,750	7,750	7,750
		観光情報相互発信事業	豊前市	17-3	4,500	3,300	300	300	300	300
		広域観光拠点施設の環境整備	豊前市	17-1	137,600		7,600	100,000	30,000	
		体験・滞在型施設改修事業	築上町	14-1	600	600	0	0	0	0
		観光案内板設置事業	築上町	14-2	500	250	250	0	0	0
		広域観光連携情報発信事業	築上町	14-3	1,000	500	500	0	0	0
		観光交流促進事業	上毛町	17-1	—					
		広域観光パンフレット作成事業	上毛町	17-2	562	300	162	100	0	0
	④広域道路網の整備	市道市民病院線道路整備事業	中津市	18-1 (21-1)	350,000	180,000	70,000	100,000	0	0
		市道下池永西大新田線外1線道路整備事業	中津市	18-2 (21-2)	50,000	0	0	0	0	50,000
		中津日田地域高規格道路側道建設負担金	中津市	18-2 (21-2)	75,000	60,000	10,000	5,000	0	0
		県施工道路(県道円座中津線)事業負担金	中津市	18-2 (21-2)	22,205		5,014	2,865	7,163	7,163
		県施工道路(国道500号)事業負担金	中津市	18-2 (21-2)	15,042		716	7,163	7,163	
		県道中津高田線道路改良工事負担金	中津市	18-2 (21-2)	33,960	4,500	11,460	7,500	10,500	0

事業区分		事業名	事業主体	関連条文	概算事業費 (見込)	年度区分				
視点	連携項目					22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
		県道中津高田線取付工事負担金	中津市	18-2 (21-2)	21,000	20,000	1,000	0	0	0
		宇佐国見高規格道路建設促進事業	宇佐市	17	400	80	80	80	80	80
		中津日田道路建設促進事業	宇佐市	17	500	100	100	100	100	100
		東九州自動車道建設促進事業	宇佐市	17	800	160	160	160	160	160
		東九州自動車道整備に伴う今成地区周辺整備事業	宇佐市	17	21,500	11,500	10,000	0	0	0
		東九州自動車道整備に伴う南赤尾地区周辺整備事業	宇佐市	17	13,400	13,400	0	0	0	0
		東九州自動車道整備に伴う木内地区周辺整備事業	宇佐市	17	43,700	4,000	39,700	0	0	0
		東九州自動車道整備に伴う赤尾地区周辺整備事業	宇佐市	17	14,300	0	14,300	0	0	0
		東九州自動車道整備に伴う山本地区周辺整備事業	宇佐市	17	3,000	0	0	3,000	0	0
		東九州自動車道整備に伴う上赤尾地区周辺整備事業	宇佐市	17	1,300		1,300			
		宇佐国見高規格道路建設促進事業	豊後高田市	20	500	100	100	100	100	100
		市道荒堀・下河内線道路整備事業	豊前市	20-1	5,000	0	5,000	0	0	0
		市道四郎丸・野田線道路整備事業	豊前市	20-1	34,826	34,826	0	0	0	0
		市道岸井・鬼木線道路整備事業	豊前市	20-1	52,050	30,000	22,050	0	0	0
		スマートIC建設事業	上毛町	20-1	430,135	9,000	9,135	55,000	178,500	178,500

(単位：千円)

事業区分		事業名	事業主体	関連条文	概算事業費 (見込)	年度区分				
視点	連携項目					22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
ウ. 圏域 マネジメント 能力の強化	①圏域マネジメント能力の強化	中堅職員合同研修事業	中津市	21-1 (24-1)	2,030	550	370	370	370	370
		圏域マネジメントセミナー事業	中津市	21-3 (24-3)	2,000	400	400	400	400	400
		圏域職員交流事業	全自治体	—	—					

**\* 事業計画に掲載された事業について**

・各年度の事業は予定であり、また事業費は概算額です。そのため各自治体の各年度の予算状況等により、変更の可能性があります。

**\* 関連条文欄の記述について**

・12-1とは協定書中の第12条第1項をあらわします。

・事業主体が中津市の場合の表記は、自治体名が明記されている場合はその自治体との協定の条文をあらわします。

・事業主体が中津市の場合で、関連条文が2段書きの場合は、上段の数字が宇佐市、築上町との協定の条文を、下段の( )書きの数字が豊後高田市、豊前市、上毛町との条文をあらわします。